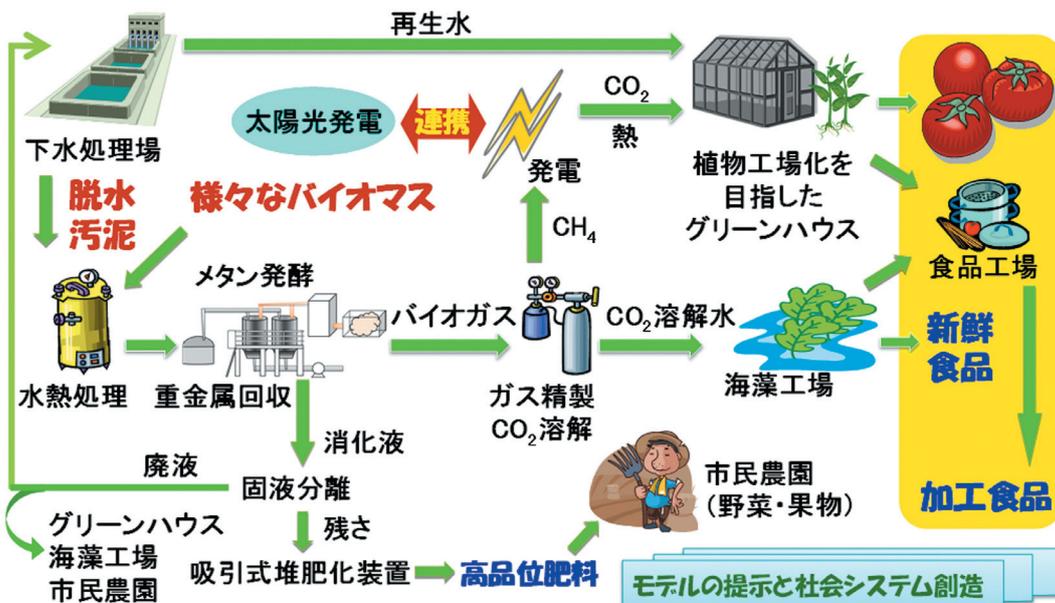


# イノベーション部門

## 豊川バイオマスパーク構想

国立大学法人 豊橋技術科学大学、愛知県東三河建設事務所



水熱処理装置による下水汚泥や生ごみの可溶化



水熱処理を施した下水汚泥と生ごみの混合消化試験



バイオガス(メタンガス)発電後の排熱・排CO<sub>2</sub>を利用した温室トマト栽培

### PRポイント!

豊川バイオマスパーク構想は、愛知県の管理・運営する流域下水道の処理場である豊川浄化センター（豊橋市に位置する）をフィールドとして、豊橋技術科学大学、愛知県をはじめ、関係する市・企業・大学・市民らが連携して行っている実証研究（文部科学省 先導的創造科学技術開発費補助金「バイオマス・CO<sub>2</sub>・熱有効利用拠点の構築」（H23-27年度））です。

下水汚泥および生ごみが有している炭素（C）・窒素（N）・リン（P）等を有効利用し、1）バイオガス（メタンガス）発電、2）バイオガスから得られるCO<sub>2</sub>の作物栽培・海藻養殖への利用、3）メタン発酵消化残渣の高品位肥料化、4）下水再生水のグリーンハウスでの利用等を実証しています。

### Key Person



豊川浄化センターマスコットキャラクター「とっと君」

施設の設置後、広報活動に努め、各種報道も多くなされたことにより、これまでに、1,000人を超える見学者に来ていただいております。事業の取り組み内容をできる限り分かりやすく説明することで、子供から大人まで、楽しみながら関心を持って頂いております。

今後、大学を中心に、他地域・海外への展開も視野に取り組んで参ります。施設の設置後、広報活動に努め、各種報道も多くなされたことにより、これまでに、1,000人を超える見学者に来ていただいております。事業の取り組み内容をできる限り分かりやすく説明することで、子供から大人まで、楽しみながら関心を持って頂いております。今後、大学を中心に、他地域・海外への展開も視野に取り組んで参ります。